

330 複合地区
第三回中長期ビジョン・財政問題検討委員会
会議記録

日時:2016年10月26日
場所:330 複合事務局

会議資料

- 1 委員会次第
- 2 出席者名簿(本日出席者参照)
- 3 委員会諮問事項
- 4 中長期ビジョン策定アンケートの実施
- 5 財政問題の検討
- 6 一般社団法人日本ライオンズクラブ平成28年度第一回社員総会関連資料及び
第2回複合地区ガバナー協議会議長連絡会
- 7 ガバナー公式訪問事前懇談会 クラブ回答書

大家委員長挨拶により開会挨拶、併せて本日出席された井出、村木各ガバナーより挨拶(省略)
司会山田 L、 議事記録者吉田 L を指名し議事に入った

冒頭、司会山田 L より(会議資料 4)

「中長期ビジョン策定アンケート実施」について、その説明と解説及びその必要性について説明がなされた

アンケートの目的は集計されたデータにより現状の会員減少傾向がクラブ消滅につながる危機感の警鐘を鳴らすことにあり、そこからクラブ活性化策を導き出すことが重要であるとの説明と A 地区の同様なアンケート書式が資料として竹本 L から提示された。(資料 7)

これに対し、吉田 L より準地区でも同様なアンケート及び会員増減推移のデータは存在するので 作業が重複する非効率性の指摘があり、井出ガバナーから同種のアンケート、リサーチの存在があり、アンケートに協力してもらえるか(回収率)懸念するむねの発言有り

坂、太田 L より、会員増強や会員の絶対数至上ではないクラブ活性化に資する根本的な解決策が提案できないか、前回の資料にあった「政策型アクティビティ」として、市民ニーズをリサーチし一般市民を巻き込んだ大きな奉仕の輪を広げるような仕掛けの企画立案を考えるべきとの提案があった。

山口 L より、自分たちの奉仕活動は限界を感じており、会員増が著しい途上国などを巻き込んだ世界的に増加を図るべき、との意見が出された
その他会員減少の現状を指摘した意見が幾つか出された

結局中長期ビジョンについての政策論では、方向が定まらない議論に終始した

「財政問題の検討」(資料6)

司会山田 L 表題の議題について資料説明があった

この件に関しては、前回の資料には、「日本ライオンズ事務所への負担金削減及び繰越剰余金の適切な処理についての対応を具現化すべく、複合地区として各クラブメンバー、他複合地区へ発信してゆきたい」があった

議論は日本ライオンズ事務所とライオン誌事務所の合併問題に遡り議論が百出、出席した現ガバナーに説明を求める意見が多く出された

要約すると、各準地区で合併の必要性、その効果、の説明が十分されぬまま(準地区によってはほとんど説明のないまま)実行したことへの不満 剰余金当会計処理の説明がされていない点等に集中した。

これに対し、出席ガバナーより我々の就任時には既に決行された状況での引継ぎであり皆さんにその経緯を詳細に説明することは不可能である。

本日指摘のあった会計処理についての質問は、(その実態が収支報告書で明らかになっていないのは)、別建てになっているのではないかと答弁された(*注)

注:この件に関しては 記録者吉田は事情を十分把握していないため精確を欠く可能性があります

最後に、既に合併法人化は実施された、今後はより良い方向へ改善されていくのか見守りダメな点は是正してゆく事が現実的では、との現ガバナーからの発言で、ひとまず時間切れ 本委員会は終了となる

次回開催日時

12月1日 場所 後日(横浜方面)を決定 議事録は事務局並び、委員長あて送付
以上を以て 閉会となる

以上

文責 B地区 川崎西 L吉田久弘